【機械工学科(IT応用機械専攻)令和7年度(2025年度)入学者用】

中国の言語と文化 2 前 ●	区分	必選	科目名	単位数	開講期	1年	2年	3年 4	年	区分	/ 必選	科目名	単位数	開記	溝期	1年	2年	3年	4年
上イツの音形と文化 2 2 2 3 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5			中国の言語と文化	2	前	•					0		2						
佐田東茂			ドイツの言語と文化								0	工業力学及び演習			後	•			
関係			フランスの言語と文化												後		ш		
									_										
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		-					-		-							-			
		-										然力于及び傾自 1 ※休力学及び隙間 1							
			(人数精神 I						-		0	CAD基礎製図	2	HU	谷				
最高学 2 後 1 前				2							0			前				•	
回原関係験 2 後 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本			経済学		後						0	工学実験 I		前				•	
株容実技目											0	制御工学及び演習 I		前)	
新年 1 1 1 1 1 1 1 1 1	舟ひ													前					
報告に社会 2 報		<u> </u>					-				0			-		-			
日 日本日産生産 1 日本日産 1 日本日		-							_		0			┝			ш		
日 日本国産法		-	教育と社会			-					0	大学研究 I		ள	1/2		Н	•	
大学	I		日本国憲法			t	ě							נימ	後				ŏ
数型と完整 2 前 1 1 1 1 1 1 1 1 1				2	後	i i	•				Ō	機械工学概論	2	前		•			
科学技術史 2 前 1			哲学		後	É					0				後	•			
四子では安全 2 回 1 1 1 1 1 1 1 1 1	邻		思想と宗教			É		•			0								
日本語 ※1 2 前	/1/	<u> </u>	科学技術史	_ 4	前					Ada	0	機構学	2			-	•		
日本事情 ※1 2 前 ● 日本事情 ※1 2 前 ● 日本事情 ※1 2 前 ● 日本事情 ※1 2 後 ● 日本事情 ※1 2 後 ● 日本事情 ※1 2 位 6 ● 日本事情 ×1 2 0 0 ● 日本事情 ×1 2 0 位 6 ● 日本事情 ×1 2 0 0 0 日本事情 ×1 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		-	小計(21科目)		24	1.			4	校	0								
日本部日 祭日 名 名 巻 日本部日 祭日 名 巻 日本部日 祭日 名 巻日 日本部日 名 巻日 巻日	共	-						+	\dashv	t _{ab}	8	<u>ソリーノ < マートエイルヤー</u> データ可相ルアニメーション I							
日本事情		H					H		\dashv	734	ŏ	データ可視化アニメーションII		HU		H			
小計 (4科目)	125						T		1	I	ŏ			T					
2	进		小計 (4科目)								Õ	知能化工作機械	2						
1		0								学				前	Ш		Ш		
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	科山								_					┡			ш		
日	2									导				-		-	ш		
日	36.								-	田田				┢		-	H		
※ 条便 英語 1 後 ●			癸屈革蔣Ⅲ			1			-	11			2	前	1/2		Н	•	
※ 条便 英語 1 後 ●			英語IV			è				科			2	13.3	後				
小計 (8科目)		0	発展英語Ⅳ				•			'									
**										目		工業概論 ※3			後	•			
**	Ш,	0							_					前					
ア			キャリア・デザイン基礎								\vdash	電子工作実習	2			-			
ア		0	キャリア・アザイン 発展			╁	•		-		\vdash		2	刖		-			
- ・ 異文にコミューケーション作料研約 2 1 後 ●		0	プレゼンテーション共注			5					-	機械設計広及び便省	9	H					
デ	l l'.		異文化コミュニケーション(海外研修)		後		1					数力学及び演習Ⅱ		H					
# △ インターンシップ II 2 後 ●			インターンシップ I	2		1		•				流体力学及び演習Ⅱ	2	T	後				
A					後							ロボット製作			後				
A	イ					_						シミュレーション基礎	2)	
日	\(\sigma \)	À	TOEIC初級 II				_					マイクロナノ加工学				-			
小計 (12科目) 18		\triangle	TOEIC中級 I						-		-	AIロホテイクス T学倫理					H		
○ 基礎数学A 2 前 ● ● 日本数工学 2 前 ● ● 日本次工学 2 前 ● ● 日本次工学 2 後 ● ● 日本次工学 2 後 ● ● 日本次工学 2 後 ● ● 日本公工学 2 後 ● ● 日本ビリティシステム 2 後 ● ● 日本ビリティシステム 2 後 ● 日本ビリティシステム 2 後 ● 工学概論 ※5 2 前 ● 日本ビリティシステム 第 ● 日本ビリナンストン報告 ● 日本ビリナンステム 日本ビリナンステム 日本ビリナンストン報告 ● 日本ビルカンストン報告 ● 日本ビルカンストン報告 ● 日本ビルナンストン報告 <td< td=""><td></td><td>Δ</td><td></td><td></td><td>12/2</td><td>- 1</td><td>•</td><td></td><td>-</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-</td><td>\vdash</td><td></td><td></td></td<>		Δ			12/2	- 1	•		-							-	\vdash		
③ 基礎数学B 2 前 ● <t< td=""><td>\vdash</td><td>0</td><td>基礎数学A</td><td></td><td>前</td><td></td><td>1</td><td></td><td>7</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>	\vdash	0	基礎数学A		前		1		7										
		0	基礎数学B	2		•						ロボット工学	2		後				
学 ○ 微積分及び演習 I 2 前 ●		0	線形代数及び演習																
	300	0	線形代数及び演習Ⅱ									シミュレーション応用		L			Ш		
A									-		-	モビリティシステム		ᅶ	後		Ш	•	
世						4			-	- 1	^	上子院師 ※5 主磁動理定羽			Н	_	Н	-	
接薬関数論		0	データサイエンス			+		+	-					刊	径	_			
小計 (10科目) 20 2 後 ● (注記1) 必選欄の◎印は、必修科目を示す。 (注記1) 必選欄の◎印は、必修科目を示す。 (注記1) 必選欄の◎印は、選択必修科目を示す。 (注記2) 必選欄の◎印は、選択必修科目を示す。 (注記3) 必選欄の◎印は、選択必修科目を示す。 (注記3) 必選欄の◎印は、選択必修科目を示す。 (注記3) 必選欄の◎印は、選択必修科目を示す。 (注記3) 必選欄の◎印は、選択必修科目を示す。 (注記3) ※超機の◎印は、選択必修科目を示す。 (注記3) ※出は、保学生の履修科目を示す。 (注記3) ※はは、中学文を助え 種食許(江菜)取得希望者のみ履修可能。 (注記5) ※3は、高等学校教諭 1 種免許(江菜)取得希望者のみ履修可能。 (注記6) ※3は、高等学校教諭 1 種免許(工業)取得希望者のみ履修可能。 (注記6) ※3は、高等学校教諭 1 種免許(工業)取得希望者のみ履修可能。 (注記6) ※3は、高等学校教諭 1 種免許(工業)取得希望者のみ履修可能。 (注記7) ※4は、早期卒業見込者の成修科目を示す。 (注記8) ※3は、高等学校教諭 1 種免許(工業)取得希望者のみ履修可能。 (注記7) ※4は、早期卒業見込者の履修利目を示す。 (注記8) ※3は、高等学校教諭 1 種免許(工業)取得希望者のみ履修可能。 (注記7) ※4は、早期卒業見込者の履修利目を示す。 (注記8) ※5 (注記7) ※4は、早期卒業見込者の優修利目を示す。 (注記8) ※5 (注記8) ※5 (注記8) (注記8) ※5 (注記9) ※5 (注記7) ※4は、早期卒業見込者の優修利目を示す。 (注記8) ※5 (注記9) ※5 (注29) ※	П		複素関数論	2		t								T	12		_		_
小計 (10科目) 20 2 後 ● (注記1) 必選欄の◎印は、必修科目を示す。 (注記1) 必選欄の◎印は、必修科目を示す。 (注記1) 必選欄の◎印は、選択必修科目を示す。 (注記2) 必選欄の◎印は、選択必修科目を示す。 (注記3) 必選欄の◎印は、選択必修科目を示す。 (注記3) 必選欄の◎印は、選択必修科目を示す。 (注記3) 必選欄の◎印は、選択必修科目を示す。 (注記3) 必選欄の◎印は、選択必修科目を示す。 (注記3) ※超機の◎印は、選択必修科目を示す。 (注記3) ※出は、保学生の履修科目を示す。 (注記3) ※はは、中学文を助え 種食許(江菜)取得希望者のみ履修可能。 (注記5) ※3は、高等学校教諭 1 種免許(江菜)取得希望者のみ履修可能。 (注記6) ※3は、高等学校教諭 1 種免許(工業)取得希望者のみ履修可能。 (注記6) ※3は、高等学校教諭 1 種免許(工業)取得希望者のみ履修可能。 (注記6) ※3は、高等学校教諭 1 種免許(工業)取得希望者のみ履修可能。 (注記7) ※4は、早期卒業見込者の成修科目を示す。 (注記8) ※3は、高等学校教諭 1 種免許(工業)取得希望者のみ履修可能。 (注記7) ※4は、早期卒業見込者の履修利目を示す。 (注記8) ※3は、高等学校教諭 1 種免許(工業)取得希望者のみ履修可能。 (注記7) ※4は、早期卒業見込者の履修利目を示す。 (注記8) ※5 (注記7) ※4は、早期卒業見込者の優修利目を示す。 (注記8) ※5 (注記8) ※5 (注記8) (注記8) ※5 (注記9) ※5 (注記7) ※4は、早期卒業見込者の優修利目を示す。 (注記8) ※5 (注記9) ※5 (注29) ※	++-		ベクトル解析		(後		ě	ഥ				* B1 (MATTER)					_		
図 物理学 I	共		小計 (10科目)																
世 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	诵						Ľ		4										
○ 物理学演習 I 2 前 (注記1) 必選欄の○回は、選択心修科目を示す。 確理 地理学演習 II 2 後 (注記2) 必選欄の○回は、選択心修科目を示す。 学 技盛化学 2 前 (注記2) 必選欄の○口は、関北心修科目を示す。 経 展 (学 2 前 (注記3) 必選欄の○口は、自由単位の科目を示す。 経 (注記5) (注記6) ※31は、自中・企業の職権目を示す。 経 (注記7) (注記7) ※1は、自中・企業の職権自を示す。 (注記8) (注記7) ※1は、自中・企業の事業の事業の事業を可能。 (注記7) (注記7) ※1は、早期を実込るの機能利目を示す。 (注記8) (注記7) ※1は、日本・定法の制度を許しる。 (注記7) (注記7) ※5とるの職権利目を示す。 (注記8) (注記8) (注記7) (注記7) (注記8) (注記7) (注記8) (注記7) (注記7) (注記7) (注記7) (注記7) (注記7) (注記7) (注記7) (注記7) (注記7) (注記7) (注記7) (注記7) (注記8) (注記8) (注記7) (注記7) (注記8) (注記7) (注記7) (注記7) (注記8) (注記7) (注記7) (注記8) (注記8) <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td>-</td> <td></td>							-		-										
 機理	基	0	初理子II 				\vdash	\vdash	/34-	-3a1\ \\	/ 232.4m	の○印は 火体料ロナニナ							
基礎化学 2 前 ●	L.I	K	物程子俱直 1 物理学溶翌 Ⅱ				1	+	(注	:記1) 火:記9) ル	い延伸な保証	い○日は、必修付日を示す。の○日は 選択必修科日を示す。							
科 系 系 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		Н					H		(注	:記3) 心	小選欄	の人印は、自由単位の科目を示す。							
展開化学 2 後		Г					T			記4) ※	(1/t.	留学生の履修科目を示す。							
日 地球科学 2 前			展開化学	2					(注	:記5) ※	(21t,	中学校教諭1種免許(技術)取得希	望者の	りみ	.履	修可	能。		
極数元子 2 16		Ľ		2			_			記6) ※	(3は,	高等学校教諭1種免許(工業)取得	希望	皆の	みり	覆修	可能		
生物学 2 後 ● 及びAIロボティクス専攻の授業科目一覧表内の科目を履修することができる。		L					•							,	1.0		- 111		
量子力学 2 前	1	<u> </u>					-		(注	(注記8) III応用機械専収の字生は上の表に記載されていない機械工学専び 及びAIロボディクス事政の終業料申一監事中の利申も歴史です。						専攻			
- 小計 (13科目) 26		\vdash				-	-	•	-	及UAIロルティクへ导収の授業料目一覧表内の料目を腹側 とができる。					シする	5 =			
情 ICT概論 2 前 ● して卒業要件単位に含まれる。 R		\vdash			削	1	_		\dashv					ナレ					
 概 ICTリテラシー 名 人工知能入門 2 前 ● (注記9) ※5は、総合工学系の学生(工学部一括型入学者)のみ履修可能。 経 情報システム概論 ※5 2 前 ● 	桔	H	ICT概論		前	Т			\dashv	113	*付し . て	業要件単位に含まれる	P.M.	.œ1	ハイヤ	100	/ 1 .	11. C	
系 人工知能入門 2 前 ●			ICTリテラシー	2		i I	ľ	•	(注	:記9) ※	(5/t.	総合工学系の学生(工学部一括型	入学	針)	0	み履	修可	能。	
科 情報システム概論 ※5 2 前 ●	系		人工知能入門			•	L	ĽĪ			,								
[目] 小計(4科目) 8	科				前				_]										
	目	<u> </u>	小計 (4科目)	8															

◇機械工学科(IT応用機械専攻)における進級及び卒業の要件は、次のとおりです。

【IT応用機械車攻 今和7年度(2025年度)入学者用】

×	分	2年への進級	3年への進級	4年への進級	卒業		
		§		4年生に進級するために	12単		
一般共通科目	選			は, 一般共通科目・共通	20単	位	
	小 計	2年生に進級するた	3年生に進級するた	基礎科目及び専門科目	32単	Ĺ位	
	◎必 1		めには、一般共通科	に関して, 目田単位を除 き, 104単位以上を修得	10単	位	
共通基礎科目	〇 選択必何	が専用も日に関し	目・共通基礎科目及び専門科目に関し	していなければなりませ	10単位	18単位	
八四至吸行口	選		て、自由単位を除き、	ん。ただしこのうち工学	-		
	小 計	34単位以上修得して	NA 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	実験 I・エ学実験 II・エ 学プロジェクトの必修4	28単位		
	◎必	いなければなりませ	いなければなりませ	単位を含め必修42単位	32単	位	
専門科目	〇 選択必何	多ん。	ん。	以上,選択必修18単位	12単位	32単位	
4-1 1/14 D		5		以上を含まなければなり	-		
	小 計			ません。	64単		
合	計	34単位	69単位	104単位	124単位		

<注意>

◇ 上の表で進級に必要とされている単位数についてはあくまで最低限のものであり、修得単位数 がこの数値を上回るような履修計画を立てることが重要である。 進級時の修得単位数が、進級要件単位数と同じくらいの数値の場合、将来的に留年をする可能 性が高くなるので注意すること。

<履修上限について>

◇ 1年間に履修できる単位数の上限は、49単位とする。 但し、自由単位の科目及び教職課程の科目の単位は含めない。 なお、成績優秀学生については53単位を上限とする。

<自由単位について>

- ◇ 各学年の進級及び卒業に必要な単位数の中には、自由単位を含めることができない。 自由単位は、次のとおり、各教育課程に規定した単位数を超えて修得した単位のことをいう。 ①一般共通科目選択科目において、20単位を超えて修得した単位。
 - ②共通基礎科目において、必修単位10単位及び選択必修単位10単位を含め、28単位を超えて 修得した単位。
 - ③専門科目において、必修単位32単位及び選択必修単位12単位を含め、64単位を超えて修得 した単位。
 - ④自由単位科目(△印の科目)及び教職科目にて修得した単位。

<進級及び卒業判定について>

原則として,

- ◇2年への進級は、休学期間を除き、1年以上在学している1年の学生を対象とする。 ◇3年への進級は、休学期間を除き、2年以上在学している2年の学生を対象とする。 ◇4年への進級は、休学期間を除き、3年以上在学している3年の学生を対象とする。 ◇卒業は、休学期間を除いて4年以上在学し、卒業研究を修了している4年の学生を対象とす

卒業には、所定の学費を全納していなければならない。

<留年生の復級について>

◇ 留年した学生が留め置かれた学年で、自由単位を除き、所定の単位を修得した場合は、教授会 の審議をへて該当学年への進級を認める。

<早期卒業について>

◇ 早期卒業については、早期卒業の認定基準を満たしていなければならない。